

II 自治体・企業・コンソーシアム等との関連

アガデミア（阿賀学園地域教育連携協議会）関連活動

広島文化学園大学看護学部 学生部長 石川孝則

1. はじめに

アガデミアとは、阿賀学園地域教育連携協議会の愛称であり、阿賀地域に立地する教育機関と地域の自治会によって組織される地域連携及び教育連携の団体である。このアガデミアは、平成 17 年 1 月に設立され、その構成団体は、阿賀小学校、阿賀中学校、呉高等学校、広島文化学園大学、呉工業高等専門学校、呉南特別支援学校、呉高等技術専門校の 7 つの教育機関と地域の自治会であり、これらの代表者が定期的に集まり協議会を開催し、様々な連携行事や活動を行っている。阿賀地区には、多くの学校が立地している文教地区としての特色があり、各教育機関と地域住民の方々が連携して、毎年、特色を生かした活動を行っている。

広島文化学園大学看護学部は、地域社会貢献を推進するとともに、教育・研究の成果を地域社会に還元し、同時にその活動自体をフィールドワークとして教育活動に位置付けるなど、地域社会との双方向の教育実践を推進する高等教育機関としてアガデミアでの活動を行っている。

2. アガデミア関連活動

1) 定例の協議会と地域課題の解決

令和 2 年度の協議会は、新型コロナウイルスの感染拡大情勢により会議開催が全 3 回に縮小され、個々の行事や活動についての連携は個別の連携・連絡によって実施する異例の形態となった。しかし、Web 会議等での継続的な連携は持続するとともに、新型コロナウイルス感染に関する情報交換を適宜行い、状況に合わせた地域行事の開催の検討や、実施行事の評価や今後の課題の検討を行った。（表 1）

表 1 令和 2 年度 阿賀学園地域教育連携協議会（アガデミア）日程

実施日時		内容
中止	4 月 2 0 日（月）	委員紹介、令和 2 年度行事の確認、各委員からの連絡事項、情報交換、その他
第 1 回	8 月 2 5 日（火）	委員紹介、令和 2 年度行事の確認、クリーンアップ・ザ・AGA と津波避難訓練の実施検討、各委員からの連絡事項、情報交換、その他
第 2 回	1 0 月 6 日（火）	クリーンアップ・ザ・AGA と津波避難訓練の実施方法、各委員からの連絡事項、情報交換、その他
（行事日）	1 0 月 1 4 日（水）	クリーンアップ・ザ・AGA ・津波避難訓練の実施 （今年度は各団体毎で個別実施）
中止	1 1 月 1 9 日（木）	アガデミアふれあい文化発表会についての検討 （今年度は事前協議にて中止となる）
（行事日）	1 2 月 1 2 日（土）	アガデミアふれあい文化発表会は中止
中止	1 月中旬	アガデミアふれあい文化発表会の振り返り、令和 3 年度のアガデミア役割分担、各委員からの連絡事項、情報交換、その他
第 3 回	3 月 8 日（月）	次年度の津波避難訓練及びアガデミアふれあい文化発表会の開催日の検討、令和 2 年度の総括、各委員からの連絡事項、情報交換、人事異動の報告、その他

2) 地域行事：「地震津波避難合同訓練」・「防災研修会」への参画

阿賀地区は、巨大地震により著しい被害が生ずる可能性が指摘される「南海トラフ地震防災対策推進地域」に指定されており、アガデミアの取りまとめのもと、行政や地域団体が協働して毎年、地震津波避難合同訓練を行っている。本学看護学部も毎年この地震津波避難合同訓練に参加するとともに、4年生の授業科目「災害看護論」を受講する学生によって地域防災ニーズに応じた防災研修会を開催し、地域の防災能力向上に向けて取り組んでいる。

例年、阿賀地区の地域住民や各教育機関の児童・生徒・学生等の約 3000 人が参加し、巨大地震とそれに続く津波が襲来する状況設定のもとで、それぞれが指定された非難場所へ避難を行い、避難における行動を地域全体で確認する訓練として実施されている。また、避難の完了後には、本学 4 年生による防災研修会として、地域住民の要望にもとづく防災講演と体験型研修会を実施している。(令和元年度の地震津波避難訓練と防災研修会の様子：写真 1・写真 2)

令和 2 年度については、新型コロナウイルスの感染拡大情勢を踏まえて、避難場所へ全員が集合する方法は避け、各団体が独自に避難行動を実施する体験訓練を行うこととなり、避難訓練後の防災研修会も中止となった。本学では、想定される複数の避難ルートを実際に歩き、各避難ルートにおける危険性を検証する取り組みとして実施した。(写真 3・写真 4)



写真 1 地震津波避難訓練の様子



写真 2 学生が実施する防災研修会の様子



写真 3 複数の避難ルートの実地調査



写真 4 各避難ルートの危険性の検証

3) 地域行事：「クリーンアップ・ザ・AGA」への参加

清掃活動を通して地域に貢献することを目的として、アガデミアの参加団体が毎年同じ日に同時に清掃活動を行う恒例行事として定着している。この行事では、行政からの活動側面支援としてごみ袋の供給や収集したごみの回収処分の実施などがあり、毎年、参加団体毎に清掃区域を取り決めた上で実施している。本学看護学部も、地震津波避難訓練の終了後に行う行事として4年生の「災害看護論」履修者が参加しており、呉阿賀キャンパスの周囲を担当して清掃活動を行っている。(写真5)

4) 地域行事：「アガデミアふれあい文化発表会」への参加

ふれあい文化発表会は、阿賀地区の人々の様々な文化的要素を発表し合うことで、地域文化の継承と活性化を促進するとともに、地域の交流をはかる行事としてアガデミア主催で実施されている。主な内容としては、阿賀地区の各教育機関からクラブやサークル活動の成果発表や、地域住民からの文化芸能の発表などがある。本学看護学部も毎年参加しており、これまでダンスサークルや吹奏楽部などの参加実績がある。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大情勢を踏まえて開催が中止となったが、令和元年度の第14回アガデミアふれあい文化発表会では、吹奏楽部が参加し行進曲や親しみやすい楽曲を中心に演奏を行った。(写真6)



写真5 クリーンアップ・ザ・AGA



写真6 ふれあい文化発表会参加の吹奏楽部

5) 地域行事：「今昔子どもふれあい大会」への参加

今昔子どもふれあい大会は、阿賀地区の教育機関が様々に連携しあうことで、よりよい阿賀の子どもたちを育てようとするアガデミア主催の行事で、例年、阿賀市民センターを会場として、阿賀地区の小さな子どもからお年寄りまで多くの参加者があり、地域活性の一翼を担っている行事でもある。主な内容としては、屋台とイベント、ステージイベントがあり、それぞれ各教育機関や地域住民からの様々に工夫を凝らした出展がある。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大情勢を踏まえて開催が中止となったが、令和元年度の第42回今昔子どもふれあい大会では、本学看護学部から屋台部門にクッキングサークル、ステージイベント部門に吹奏楽部が参加した。

6) その他の活動

(1) アガデミア周辺文教地区の街路灯・防犯灯の増設に向けての取り組み

呉市阿賀中央5丁目から阿賀南3丁目の範囲にある「アガデミア地区」は、文教地区として呉市立阿賀小学校・中学校、市立呉高等学校、国立呉工業高等専門学校、県立呉南特別支援学校、県立呉高等技術専門校、広島文化学園大学看護学部が立地しているが、道路の周囲に明かりが少なく、街路灯が設置されているものの歩道を照らしていないため、歩行者が安全に通行できない箇所が多く見受けられる状況であった。

この状況を踏まえて、アガデミアで検討を重ね、令和2年1月21日開催のアガデミア会議にて、呉市に街路灯・防犯灯増設への要望書を提出することが承認され、令和2年3月6日付けでアガデミアより「アガデミア周辺文教地区の街路灯・防犯灯の増設について」の要望書を呉市長へ提出した。要望書の提出に際して、要望者として本学からは当時の田中宏二学長、佐々木秀美学長補佐、岡島正男大学・短大事務局参事が呉市役所に出向き、直接、呉市長に提出した。またその後、同年9月10日付けで、設置場所の具体案を提出した。

その結果、令和2年11月に阿賀小学校の前道路沿いの2か所と、呉工業高等専門学校南側道路沿いの1か所に防犯灯が設置され、広島文化学園大学呉阿賀キャンパスから阿賀小学校までの区間の歩道が明るくなり、非常に歩きやすく安全性が大きく改善された。なお、令和3年度以降には、呉工業高等専門学校南東側道路沿いに街路灯を増設する計画が予定されている。(写真7・8)



図1 街路灯設置案と実際に防犯灯が設置された場所



写真 7 呉市への要望書の提出



写真 8 阿賀小西側道路に新設された防犯灯

3. おわりに

広島文化学園大学看護学部は、地域と連携した教育・研究活動を推進するとともに、当該地域の活性化に向けて、アガデミアとその関連活動に積極的に取り組んでいる。特に近年、豪雨災害など深刻な災害発生とともに、昨年度からは新型コロナウイルス感染症への危機管理対応など、これまでの経験知だけでは対応できないような地域課題が発生しており、より一層、各団体やそれぞれの分野が協力して対応に当たる必要性が増している。この状況において、地域に立地する複数の団体や地域の自治体で構成されるアガデミアは、これらの地域課題への取り組みの最前線となる活動でもあり、引き続き、積極的にアガデミアの活動を推進していきたいと考える。